

NICE

Numazu association for International Communications & Exchanges

Vol.36

発行日 2000年 6月30日

発行者 NICE 沼津国際交流協会
(企画広報部会)

所在地 沼津市御幸町 1 6 番 1 号

(事務局) 沼津市役所市民生活課国際交流室内

☎0559-34-2529



あす
21世紀へ向かってGO!

平成12年度総会無事終了!

平成12年度沼津国際交流協会の総会が5月13日(出)、沼津市寿町のブケ東海に於いて開催されました。



▲小林会長いつもいつもご苦労さま

開会に先だち、平成11年8月31日に急逝されました元沼津市長の庄司辰雄様のご冥福を祈り黙祷が捧げられました。

庄司様には、当協会発足以前から、沼津市の国際交流に御尽力いただき、特に本年度15周年を迎えた岳陽市との友好都市提携の際には、当時の市長という立場からも交流の礎を築くため、多大なご理解とご協力を賜りました。

平成11年度事業報告より始まり、スムーズに議事が進行する中、今年度は「役員改選」があり、小林会長が留任、そして「規約の一部改正」に伴い、副会長4名が選出されました。

最後に一昨年急逝されました道前様の協会への寄附金が紹介されました。



▲寄附金を受け取る青木副会長



▲華麗なるかな女性陣

総会終了後、会場を移動しまして、古屋和子さんによる「山本五郎作一青竹一」を堪能いたしました。琵琶の音がかもしだす「ひとり語り」の世界、聞く程に吸い込まれて行きそうな不思議な空間を体験しました。

引き続き行われました懇親会には、古屋さんのお心遣いにより、カナダの童話を披露して頂き、古屋さんと会員の心が一つになったような和やかさの内に終了することができました。



▲古屋さんを囲んで

平成12年度役員

会長	小林 裕 幸
副会長	青木 章 夫
副会長	長澤 芳 明
副会長	長濱 昇
副会長	増田 八 彦
理事	大熊 康 之
理事	笹原 嘉 純
理事	徳田 和 人
理事	渡辺 昶
理事	田中 治 之 (企画広報部会部会長)
理事	飯塚 信 子 (// 副部会長)
理事	高澤 啓 子 (国際理解教育部会部会長)
理事	久保田 実 (// 副部会長)
理事	杉原 勢 津 子 (ふれあい部会部会長)
理事	鈴木 貴 雄 (// 副部会長)
理事	中村 房 子 (カラマズ一部会部会長)
理事	鈴木 清 光 (// 副部会長)
理事	本多 伝 (岳陽部会部会長)
理事	日野原 三 郎 (// 副部会長)
監事	多賀 義 明
監事	安田 政 義

20世紀最後の年、平成12年度がスタートしました。21世紀へ向かって一步一步確実に前進して行く所存でございます。会員の皆様の絶大なご支援とご協力をお願いいたします。

ホットな8日間!

青年招へい事業 パプアニューギニア青年15名来沼

今年もJICA（国際協力事業団）主催の青年招へい事業として、15名のアセアン青年が5月31日より6月7日までの8日間、沼津を訪問しました。今年にはパプアニューギニアより15名（男性14名、女性1名）の公務員を迎えました。



沼津に滞在中青年たちは、沼津市長表敬訪問のほか、工業団地・富士通視察、県栽培漁業センターでの研修、沼津御用邸見学、陶芸体験などを行いました。



▲県栽培漁業センターにて



▲御用邸にて

また沼津市民との交流を深めるため、2泊3日のホームステイを通じて、日本の生活を味わうことができました。青年たちにとって、沼津滞在中での経験は、きっと忘れることのできないものになるでしょう。



▲オリジナルコーヒーカップ製作の陶芸体験

◆交流のタベ◆

「太鼓のリズムに合わせて…」

鈴木 貴雄

5月31日。しとしととすでに梅雨を思わせるような雨が降る中、青年たちはここ沼津ブケ東海の歓迎会の場へと現れた。



▲太鼓の演奏とともに入場!!

パプアニューギニアからの15名の青年たちを先導する黄瀬川太鼓の勇壮な音。会場に現れた青年たちを拍手で迎え、沼津国際交流協会のメンバーとの交流のタベが始まった。



▲「はじめまして…」と日本語で自己紹介

青年招へい事業

NICE 小林会長の挨拶に続き、青年たちは一生懸命覚えた日本語で自己紹介。たどたどしいが、しっかりとした日本語で挨拶する青年たちの顔にはこれからの沼津滞在への期待感がにじみでていた。

JICA 代表者の挨拶、そして NICE 長澤副会長の乾杯の発声により開宴となった。

英語を公用語とするパプアニューギニア青年と NICE 会員のコミュニケーションは思いのほかスムーズにしているようだ。楽しい会話と美味しい食事。宴もたけなわとなった頃、本日のアトラクション、黄瀬川太鼓の演奏が始まった。日本文化を代表する太鼓のリズムに合わせるように体を揺らしながら聞き入る青年たち。祖国で聞いているようなリズムが彼らの頭のなかで鳴っていたのだろうか。祖国の音楽を思い出していたのだろうか。



演奏がひととおり終了すると、次に青年たちが太鼓にチャレンジする番である。簡単な曲を教えてもらいながら、メンバーのリードでばちを振るう青年たち。とてもうれしそうだ。

飛び入りした NICE 会員と共に太鼓をたたくうちに互いにすっかりうちとけ、沼津の雰囲気にも慣れた様子だった。時間をオーバーしながらも、太鼓をたたく青年と NICE 会員の様子は、これからの楽しい 8 日間を予感させるに十分であった。

～ホストファミリー体験記～その 1

「ホストファミリーとなって」

岸 幸子

子供に国際交流の場を与えたいと願っていた

折、広報ぬまづでホストファミリー募集を知り、受け入れを始めて 4 年目になり、娘は 7 歳、息子は 5 歳となりました。97 年 9 月には、タイの宮殿で皇女様の国民生活向上事業の総務を務め、一生独身で皇女様のために働きたいと言っていたブムちゃん。ブムちゃんに、どうして日本語を話さないのと言いつけ、4 日目にやっと Come on を多用していた娘。娘と息子の成長を毎年写真でずっと見守りたいとブムちゃんは言ってくれました。98 年 9 月は今回と同じパプアニューギニアの高校の英語と社会の先生で、とても綺麗な英語と 6 つの現地語を話すフランク。フランクにベストフレンドと呼ばれ、娘はとても嬉しそうでした。2000 年 2 月はインドネシアで友達と事業を営み、とてもほがらかなアンナちゃん。送別会のアンナちゃんの涙に涙し、お別れに頂いたアンナちゃんのショールを、アンナちゃんの香りがすると娘は大事にしています。そして今回、2000 年 6 月、パプアニューギニアからみえた公務員のデデさん。もっと笑顔が見たいなと思っていた 2 日目の夕方、夕食前の 15 分程、子供部屋で娘と息子と 3 人だけで過ごしてもらおうと、とても楽しそうなデデさんの笑い声が聞こえ、とても嬉しく思いました。その晩、ご好意により、山本様宅で詩舞の披露と書道の練習を受け、ご自身の娘さんの名前を筆で一生懸命練習したデデさん。出来上がった色紙は、とても思い出深い素敵なお土産となりました。3 日目には、本当にくつろがれ、三津シーパラダイスも、水族館は初めてで、とても楽しかったと喜んでくださいました。



青年招へい事業

今回初めて自分から英語で話しかけていた息子も、全部が楽しかったと、幸せそうでした。小さな子供がいて迷惑ではと心配した事もありましたが、堅くなりがちな大人を、子供たちは本当に無邪気にくつろがせてくれ、大きな心の交流を得ています。今回デデさんは特に、同じ年の娘さんと1歳半の息子さんを恋しく思っていたので、良かったととても喜んでくださいました。ホストファミリーとなったことで、素敵な交流と温かな思い出をいただきました。



～ホストファミリー体験記～その2

「ホームステイの魅力」

花田 静子

これまでに、長期間、中期間のホームステイをお引き受けした事は何度かありましたが、3日間という短期は初めてです。お話をいただいたときには、すでに日帰り旅行を計画していましたので、一緒にお連れできるとってお受けしました。

パプアニューギニアと聞いてあわてて地図を広げたり、インターネットで土地の状況を見たりしてびっくりです。テレビでしか見たことのない、顔にたくさんの色を塗って、頭に鳥の羽根をつけた人たちの写真が出てきたのです。

しかし来日した方は、都会に住み政府の行政計画に携わる方々でした。お会いした彼は、額の真中に小さな刺青があり、怖い表情なのでやや戸惑いました。経済力のある人は妻を数人持つが、自分は2人しかもっていないと言いました。「アンビリャバポー」…なんという文化の違

いでしょう!!

滞在中、彼はとても積極的に日本文化を知ろうとしていました。私たち夫婦と娘夫婦、そしてその両親と7人の伊豆小旅行でしたが、水族館のイルカやアシカのショーに興味を示し、街の端々に科学の進歩を発見したようです。食事をすればその食材の豊富さに驚きながら、なんでもトライします。

最後に彼は日本を次のように評価していました。「日本は長い間鎖国状態にあったにも拘わらず経済大国となったのは、日本人が勤勉であるからだ。自分の国も日本から学ばなければならない」と…。



彼の日本研修に協力できたかどうかはわかりませんが、3日間を楽しく過ごし、多くの体験ができた喜んでいただき本当にうれしく思いました。最後のバイバイパーティーは抱き合っただけの別れです。長期短期に拘わらず、文化の違いを超えて、親密な関係をつくる素晴らしさがホームステイの魅力と再確認しました。ちなみに英語が十分できるわけではありません。娘夫婦のサポートのおかげです。

◆ 歓送会 ◆

渡辺 俊次

会場内では今回彼らをお世話くださったご家族またNICE会員が今か今かと待ち受ける中、司会者の合図により入場。

PNG青年全員疲れも見せず笑みを浮かべ、ホストファミリーのテーブルまでエスコートされ、なごやかな雰囲気乾杯！ 食事をとりながら残り少ない時間を有意義にコミュニケーション。

青年招へい事業

お互いに記念撮影をし、満腹になったところで二国間でのパフォーマンスの交流。



▲お箸の使い方も、こんなに上手になったよ。

沼津が彼らにとって心のふるさとになる事を祈り青年たちに輪の中に入れてもらい、「沼津ふるさとの街」をハッピーを着て踊りました。



続いて青年たちも彼らの島のダンスやギター演奏を入れて島のフォークソングを合唱。アンコールの出る盛り上がりとともに、心に残る1ページとなりました。

また会いましょう See you again



時間もせまり記念品を長澤NICE副会長より一人一人に手渡しました。彼ら自身が陶芸教室で絵付けをしたコップでした。その中には貴重な体験、心のふれあい、そしてスピーチの中でもありました富士山を見た感動等の思い出をたくさん入れて自国へ持ちかえることが出来たと思います。おそらく一生の宝になるに違いありません。



最後にPNGの発展、彼らの幸せそして末永く交流できることを祈りつつ、アーチを作りながら惜しく見送りしました。



このような招へい事業やイベント等に次の世代の人たちにもっと大勢参加して頂き、「グローバルイゼーション」という言葉を耳にしますが、こういった交流こそがベースになると言っても過言ではないと思います。

6月8日沼津をあとにした青年たちは、広島・宮島を観光し、6月12日大阪での閉講式を終え、6月13日無事に家族の待つパプアニューギニアへ帰国しました。

6月12日に行われたプログラム評価会において、沼津でのプログラムは高い評価を得ました。「すべて素晴らしかった。非常に満足した。ホームステイがとても楽しかった。全日程の中で、沼津でのプログラムは圧巻であった」というコメントをいただきました。

今回で14回目となる「青年招へい事業」を成功のうちに終了することができましたのも、皆様のご協力のお陰です。スタッフ一同感謝しております。

この事業は毎年継続していく予定でいますので、一人でも多くの方の参加をお願いいたします。

その他の活動報告

留学生決まる



岳陽師範学院への 留学生紹介

古屋美保子 さん

静岡県立大学生

中国語専攻

3月から1年間

英検2級

「将来は中国語と英語を使う
職業につきたい」



斎藤弘美 さん

富士常葉大学生

中国語と中国武術専攻

9月から1年間

剣道2段

「中国の環境防災について学
びたい」



カラマズー市の高校へ

吉川 薫 さん

5月13日に留学生の選考会が行われました。
10名の応募者より沼津東高校2年生の吉川薫さ
んが選ばれました。

吉川さんは、バスケットクラブのマネージャ
ーをする、明るく活発な生徒です。

ホストファミリーの娘さんたちが通うクリ
スチャンスクールへ一緒に通うことを今から楽し
みに準備を進めています。



スポーツで交流

ふれあい部会主催のスポーツ交流会が3月12
日に、勤労者体育センターで開催されました。

今回は沼津海洋少年団の団員の参加で、いつ
もとはちょっと違う賑わいがありました。例年
の種目にバレーボールも加わりエキサイトする
場面も見られました。

在住外国人の間ではしっかり定着したNICE
の行事となり、常連さんの顔も見られ同窓会
のような雰囲気も…。

綱引きで夢中になりす
ぎて筋肉痛になった人、
10人11脚で賞品をゲット
した人、応援をしてくれ
た人…。

国際交流と日頃の運動不
足解消を兼ねて、またい
い汗をかきましょうネ。



国際交流なんでも情報室

国際理解教育部会からのお知らせ

5月23日に、今年度最初の部会全体会と懇親会が行われました。

今年度の事業の予定は以下の通りです。

1. 「日本語を語る会」毎週土曜日（年41回）
2. 「国際交流サロン」
 - ①クッキングサロン 6月25日(日)
 - ②お国紹介講座 11月26日(日)
3. 「英語&日本語スピーチコンテスト」
10月22日(日)

～運営委員大募集～

上記1の講師、2と3のスタッフを募集中です。詳しくは事務局までお問い合わせください。

次回の運営委員会は7月18日(火)19:00～文化センターで行います。

「日本語を語る会」の講師、「英語&日本語スピーチコンテスト」のスタッフを引き受けていただける方はご出席ください。

「燦々ぬまづ踊り」でレッツ国際交流

8回目を迎える燦々ぬまづ踊りは、昨年から沼津夏まつりのパレードとして開催されています。大勢で参加して、祭りと、踊りと、国際交流と欲張った楽しい夏の日にしましょう!!

- とき** 7月29日(土)午後2:30～
- ところ** アークード街
- 内容** 色々な団体が参加する舞踊パレードに沼津国際交流協会は外国人と日本人の混成チームで出場
- 定員** 40人
- 練習日** 7月19(水)・21(金)・23(日)・25(火)・27(木)
午後7:00
市民文化センター第二練習室



中国語入門教室

- 日時** 平成12年8月3日～10月12日の毎週木曜日（8月17日休み）
全10回
午後7時～午後8時30分
- 場所** 沼津市民文化センター2階
- 費用** 全10回 協会員 ¥1,500
非会員 ¥2,000
- 定員** 50名（先着順）1クラス25名

不要な日用品・家電品を譲ってください

8月末から1ヶ月間中国の友好都市岳陽市から医療研修生2名が来沼します。

1ヶ月間、宿舎で使用する日用品が全くありません。不要な日用品・家電品等がありましたら、お譲りください。

(例) 電気炊飯器、鍋、調理器具、扇風機、単身用のテーブル、衣装ケース、洗濯機、掃除機、テレビ、ラジカセ、自転車、その他日用品等

お申し込み・お問い合わせ等は
NICE 沼津国際交流協会事務局
(市役所・市民生活課国際交流室)
☎34-2529



▲昨年度の燦々ぬまづ踊り